

# 診療科特集 Vol.9

## 腎臓内科

### 診療目標

1. 腎障害進展抑制や透析導入の回避を目指した診療
2. 包括的腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)の推進
3. 腎不全患者、透析患者における合併症治療のサポート
4. 様々な血液浄化療法による幅広い治療の提供



入院主要10疾患

疾患名	症例数	疾患名	症例数
慢性腎炎症候群	22	腎移植慢性拒絶反応	3
ネフローゼ症候群	6	CAPD腹膜炎	4
急性腎不全	4	細菌性肺炎	6
慢性腎不全	69	下部消化管出血	5
透析シャント狭窄・閉塞	16	肺水腫	3

主要検査件数

検査	件数
固有腎生検	22件
移植腎生検	17件
その他診療科別の実績資料	
腎臓病教室	10回
腎臓病教室参加者	75名

### 診療概要

スタッフ2名とレジデント1名で構成し、健康診断などでみつける自覚症状のない検尿異常から、透析治療や腎移植を必要とする末期腎不全まで様々な腎疾患とあらゆる段階を診療しています。近年慢性腎臓病（CKD）という疾患概念が提唱され、軽度の腎機能低下や蛋白尿は末期腎不全への進展だけでなく、心筋梗塞や脳卒中の重大な危険因子であることが明らかとなっています。腎障害の進展抑制は重要な課題であり、早期発見、早期治療につなげられるように腎生検が可能な場合には腎生検による診断と治療を行い、また透析導入の回避を目指し併存疾患の管理を行っています。

保存期腎不全（慢性腎不全で腎代替療法を開始するまで）期間を延伸するには、薬物療法だけでなく原疾患のコントロール、生活指導、栄養療法など多面的なアプローチが

必要です。その一環として医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーとともに患者さんとご家族を対象とした腎臓病教室を月1回開催し、啓発と患者指導を行っております。

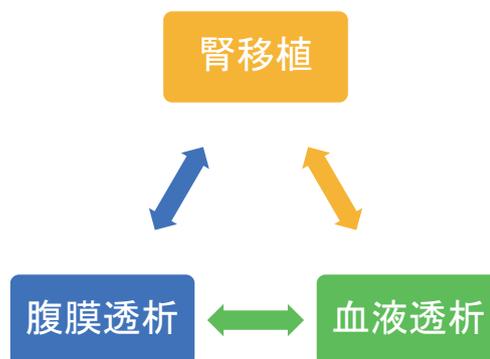


腎臓病教室

## 包括的腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)の推進

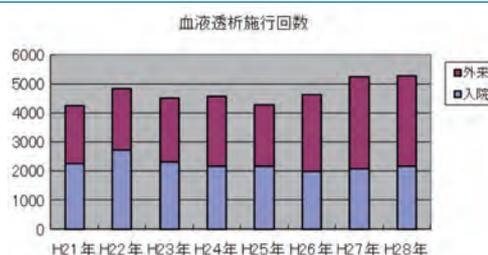
腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植と3つの治療法があります。3つの治療法にはそれぞれ長所と課題があり、相反するものではなく相互に補完する役割があり、これを包括的腎代替療法と呼びます。当院は県内において長崎大学病院以外で、この3つの療法が可能な唯一の医療機関です。腎代替療法への円滑な移行や生命予後改善を目指し包括的腎代替療法を推進しています。患者さんの生活の質に配慮し自分に最も合った治療法(医学的条件だけでなく価値観やライフスタイル、ライフステージなどを考慮)を選択し継続できるように支援するとともに、透析療法の変更や、併用療法、腎移植への移行(またはその

逆)なども行っています。腎移植は、泌尿器科と連携し長期生着を目標に治療、管理を行っています。



## 腎不全患者、透析患者における合併症治療のサポート

腎疾患の最終医療機関としての役割を果たすべく、多彩な診療科と連携し、様々な合併症の患者さんを積極的に受け入れています。その数は年々増加しており、2014年度171人、2015年度213人、2016年度は222人の患者さんを受け入れました。また入院患者さんの血液透析は年間2,000回以上行っています。



図：血液透析施行回数の推移

## 様々な血液浄化療法による幅広い治療の提供

肝疾患、神経疾患などに対する血漿交換や、炎症性腸疾患や関節リウマチに対する白血球除去、難治性ネフローゼ症候群に対するLDL吸着など、薬物治療のみでは十分

な治療効果が期待できない状況に対し様々な血液浄化法を行っています。難治性腹水(癌、肝硬変)に対しては腹水濾過濃縮再静注法(CART)も行っています。

	血漿交換	血漿吸着	二重ろ過膜血漿交換	LDL吸着	合計
2012年	20	11	0	0	31
2013年	12	9	0	4	25
2014年	13	13	7	0	33
2015年	19	2	0	0	21
2016年	28	0	0	12	40

図：アフェレーシス治療件数

単位：回



当科は日本腎臓学会・日本透析医学会の認定施設であり、腎生検や腎不全の患者さんに対する人工透析療法、急性腎不全に対する血液浄化療法や血漿交換療法等の専門医療にも対応できる施設です。長崎県県央地区の腎臓病全般を対象に、近隣の医療機関との情報交換も密に行いながら地域に密着した診療を行っています。皆様よろしくお願い申し上げます。